

AFソルベント製造装置、商業運転開始について

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、2004年10月5日に、当社グループにおける潤滑油事業の競争力強化を目的とした潤滑油製造体制の再構築計画(以下「本計画」)を発表しておりますが、本計画の一つとして約50億円を投資し、新日本石油化学株式会社(社長:高橋良昭、川崎市、以下「新日石化学」)川崎事業所(所長:土師省司、川崎市)に新設したAFソルベント※製造装置が、6月23日より商業運転を開始いたしますのでお知らせいたします。

本装置は年間60千KLの製造能力を有し、当社グループ全体でのソルベント製造能力は、年間で160千KLとなります。

AFソルベントは、新日本石油加工株式会社(社長:副島正史、横浜市、以下「新日石加工」)新潟工場(工場長:門間 豊、新潟市)で製造しておりましたが、本年5月27日に同工場での製造を停止し、この度、新日石化学川崎事業所に製造を移管するものです。

また、川崎事業所では石化原料多様化の一環として、ソルベント製造時に併産される留分(年間約70千KL)をエチレン原料として使用いたします。

以上

※ AF(Aroma Free)ソルベント:芳香族分が1質量%未満のインク溶剤



AFソルベント製造装置

[『新日本石油化学株式会社の概要』\(PDF:8KB\)](#)

[『新日本石油加工株式会社の概要』\(PDF:16KB\)](#)